

公益財団法人東京都島しょ振興公社

令和6年度第4回理事会議事録

- 1 開催日時 令和7年2月19日（水曜日）午前9時20分～午前9時55分
- 2 開催方法 東京都港区海岸一丁目4番15号島嶼会館2階会議室及び
Microsoft Teams によるオンライン開催
- 3 出席者 理事総数 6名
出席理事 5名
理事長 渋谷 正昭 理事 村山 将人
理事 前田 弘 理事 山下 奉也
理事 松野 利美

監事総数 3名
出席監事 3名
監事 大沼 弘一 監事 中村 佳一
監事 小野 博史※

※を付した監事については、Microsoft Teams によりオンライン出席した。

- 4 議長 理事長（代表理事） 渋谷 正昭

5 決議事項

- 議案第1号 第7次中期実施計画の策定について
議案第2号 令和7年度事業計画案及び収支予算案について
議案第3号 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて
議案第4号 東京愛らんどシャトル 利便性の向上について

6 議事の経過の要領及びその結果

理事長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、理事6名の過半数が出席しており、定款第36条の規定に基づき、理事会の議案に対する決議は成立する旨を告げた。その後、次の議案の審議に入った。

（1）議案第1号 第7次中期実施計画の策定について

議長は、議案第1号を上程し、配付資料により事務局長から第7次中期実施計画最終案について説明がなされた後、議長は、これを諮ったところ、次の質疑があった。

（前田理事）「第7次中期実施計画（最終案）について」という一枚物の資料について、これは、会議の中で出された意見についての対応をまとめたものという認識でよいか。

（事務局長）その通りである。第三回理事会において第7次中期実施計画の素案を提示したが、その後に町村からご意見をいただき、取りまとめたものがこの資料である。

審議の結果、原案どおり満場一致で承認された。

(2) 議案第2号 令和7年度事業計画案及び収支予算案について

議案第3号 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて

議長は、議案第2号及び第3号を一括して上程し、配付資料により事務局長から令和7年度事業計画案、収支予算案、資金調達及び設備投資の見込みについて説明がなされた後、議長はこれを諮ったところ、次の質疑があった。

(前田理事) 資料62頁にある「特産品推進」及び「地域振興補助」について、事業見直しにより予算が減額となっていると思うが、令和7年度事業に対応できるだけの予算となっているのか。

(事務局長) まず、「特産品推進」について。特産品の開発については、これまで民間事業者に委託料を支払う形で実施していたが、今年度から従来の手法を見直し、コーディネーション業務に特化して特産品の開発を進めている。来年度についても、今年度の手法を継承し、予算をかけずに執行することが可能となる見込みであるため、予算上問題なく執行可能である。

次に、「地域振興補助」について。地域振興補助は、当該年度に採択した案件についての支出を次年度に実施する事業である。このため、令和7年度に採択した案件に係る支出は令和8年度予算での執行となる。

(村山理事) 「ヘリ・コンピューター運航支援」事業について。利島村においては、東京愛ランドシャトルの搭乗率が低く、搭乗率向上に向けて足を引っ張っている状況である。船の就航によって住民の事情は変わってくるところではあるものの、今後はこれまで以上にキャンセルが発生しないような措置を講じる必要があると考えており、搭乗率の向上に向けて努力していきたいと考えている。

また、会議資料のペーパーレスについて。会議毎に配布される紙資料について、量が膨大化してきており、印刷等の準備も含めて大変であると推察する。経費はかかると思うが、東京都島嶼町村一部事務組合とも連携する等、ペーパーレスに向けた対応について検討してほしい。

(事務局長) 「ヘリ・コンピューター運航支援」事業については、弊社としても搭乗率の向上に向けて引き続き取り組んでいきたいと考えているので、ご協力賜りたい。

また、会議資料のペーパーレスについて、これまで弊社でも運営管理費用の見直しの中で検討してきたところである。今後は役員等、会議に出席される方のご意見を踏まえながら、希望者のみ紙配布とする等、検討していきたいと考えている。

(渋谷理事長) 小笠原村議会でもペーパーレスを実施しており、こうした会議には慣れている。試行という形でも良いので、一度ペーパーレス会議を実施してみてもよいのではないかと考える。

(山下理事) 資料60頁について、昨今の金利状況が厳しいということは理解しているが、令和9年度の黒字化に係る記載について、もう少し前向きで明るい記載にできないか。また、会議資料のペーパーレスについて、東京都島嶼町村一部事務組合に対して

は、私からも、会議資料のペーパーレスを検討してほしい旨の話を既に行っている

ので、連携して取組んでいただきたい。

(松野理事) 資料60頁について、予算の削減を頑張りましたという説明が力強くあったが、予算上は削減だけでなく、今後伸ばしていく必要がある部分に対する経費も考慮されたものとなっているはずである。削減だけの話ではなく、伸ばしている部分についても少し前向きに一言触れるようにすると、見え方も大分変わると思うので、検討をお願いしたい。

また、資料54頁について、「3 当期経常増減額」が-7,238千円となっているが、この中には減価償却費も含まれているため、減価償却費を除いた額で考えると、「3 当期経常増減額」はほぼ0円に近い額となっているとの認識で間違いないか。

(事務局長) まず、資料60頁について。山下理事及び松野理事から頂いた意見を踏まえつつ、前向きな記載へ修正することを検討したい。

次に、資料54頁については認識のとおりであり、減価償却費を除けば「3 当期経常増減額」はほぼ0円に近い額となっている。

審議の結果、原案どおり満場一致で承認された。

(3) 議案第4号 東京愛ランドシャトル 利便性の向上について

議長は、議案第4号を上程し、配付資料により企画管理課長から説明がなされた後、議長は、これを諮ったところ、原案どおり満場一致で承認された。

7 報告事項

(1) 令和6年度第4回公社運営検討委員会の開催結果について

企画管理課長及び業務課長より、標記案件について説明がなされた後、次の意見、質疑があった。

(前田理事) 資料74頁について、議題2の部分で、「9 (島しょの方へ) 予約が確保できないと思うことがありますか」の問いに対し、9割以上の方がそう思うと回答しており、搭乗できなかった人が多くいると思われる。一方で、議題1の部分では、搭乗率が60.6%の低い数値で過去最高実績となっており、このギャップが生じている理由について説明してほしい。

(企画管理課長) 東京愛ランドシャトルは全6島を1日1回往復運航しているが、搭乗率が高い区間と低い区間が存在し、全ての区間の搭乗率を平均した数値が60.6%となっている。ヘリの予約は朝の9時から電話受付が始まるが、搭乗率が高い区間ではすぐに席が埋まってしまい、予約が取れない状況となる。こうして予約が確保できずにご不満を持たれたユーザーの方が、アンケートにご回答いただいた際に、予約が確保できない旨の回答をしていただいているものと認識している。

(2) 新しい公益法人制度について

企画管理課長より、標記案件について説明がなされた後、次の意見、質疑があった。

(渋谷理事長) 外部理事及び外部監事の検討状況について教えてほしい。

(事務局長) 外部理事及び外部監事については現在検討中であるが、外部理事については、公益財団法人東京観光財団の地域振興部長に就任いただく方向で調整を進めている。

(3) 理事長の職務執行状況について

企画管理課長より、標記案件について説明がなされ、これを了承した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は午前9時55分閉会を宣し、解散した。

上記事項の経過の要領及びその結果を明確にするため、代表理事及び出席監事が記名押印する。

令和7年 2 月 19 日

公益財団法人東京都島しょ振興公社

議長 理事長 (代表理事) 渋谷正昭

監 事 大沼弘一

監 事 中村佳一

監 事 小野博史